



# 笑顔があふれる場所がいっぱい 久喜で子育て



子どもは、家庭にとって「かけがえない存在」。外から見ると、家庭内は輝いて見えます。しかし

## 地域全体でサポート

都市化、核家族化、働き方の変化等により、人々の価値観や生活様式が多様化している中、子育てに対する意識やニーズも変化しています。子どもや家庭の状況に合わせた、きめ細やかな支援が必要とされています。



また、市内には親子で安心して遊べる場所や、気軽に相談できるスタッフがたくさん。一歩外に出てみると、また違う景色が見えるかもしれません。

## 久喜で子育て

今月の特集は、親子をサポートする久喜市の子育て支援の取り組みをご紹介します。

## 子どもの出生数が過去最少に

令和4年に厚生労働省が行った人口動態調査によると、令和4年に生まれた子どもの数は、77万747人。1899年に統計を取り始めて以降、最も少ない数となり、初めて80万人を下回りました。

日々子どもと向き合う保護者にとっては、楽しいことばかりではありません。子育ての不安や悩みを相談できる人が周りにいなかったり、1人で子どもといると、「孤独」を感じてしまうことも。

久喜市では、誰もが安心して子どもを産み、子どもが健やかに育つことができるまちの実現に向けて、地域全体で保護者をサポートする体制づくりや、困ったときにいつでも相談や支援が受けられる環境整備を図っています。



# 新年のごあいさつ



## 笑顔あふれる1年に

久喜市長 **梅田 修一**

市民の皆様におかれましては、希望に輝く新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、広報くき令和5年5月号でも特集した本市の取組み「地域が場を作り、学生が盛り上げる！3人制バスケットを通じたまちづくり 3X3 KUKIプロジェクト」が、スポーツ庁の「スポーツ・健康まちづくり優良自治体表彰」を2年連続で受賞いたしました。2年連続での受賞は、埼玉県内の自治体では初の快挙であり、本市が掲げている「健幸・スポーツ都市宣言」に関する取組みを高く評価いただけたものと嬉しく思っております。

また、本年は、JR東鷲宮駅東口に立地予定の商業施設の一部をお借りして、行政窓口、子育て支援およびコミュニティセンター機能を備えた新たな複合施設を設置する計画であります。より多くの方々に施設をご利用いただき、地域の賑わいの拠点となるよう、取組みを進めてまいります。

この他、少子高齢化に伴い、国では「こども家庭庁」を発足させるとともに、「異次元の少子化対策」を掲げております。本市におきましても、全ての妊産婦・子育て世帯・子どもの包括的な相談支援を行う体制を強化するため、子ども家庭機能を設置し、より子育てしやすい環境を整えてまいります。

本年も、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、市民の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



## 新たな挑戦を

久喜市議会議員 **上條 哲弘**

市民の皆様におかれましては、輝かしい新年を迎え、健やかに過ごしのことと心よりお慶び申し上げます。また、平素より市議会に対し、温かいご理解とご協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

年頭にあたり、市議会を代表して、謹んでごあいさつを申し上げます。昨年、スポーツ界では、侍ジャパンがWBCを制覇するなど、各分野で数々の感動を生んだ一年となりました。特に大谷選手の「憧れるのをやめましょう」という、強い決意と闘志の現れた一言は、私たちが何かに挑戦するときの勇気を与える言葉として、心に深く響きました。

新年を迎え、市民の皆様も「新たな挑戦」をしてみたいかでしょうか。その新たな一歩が、一人ひとりにとって、素晴らしい結果をもたらすことを切に願っております。

私たち市議会も、挑戦を続け、より質の高い議会を目指すとともに、安全・安心なまちづくりの実現に向けて、鋭意努力してまいります。どうか皆様の変わらぬご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。結びに、新しい年が市民の皆様にとりまして、幸多き年でありまして、皆様のご健勝を心より祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

